

権利擁護／虐待防止

事例検討編①

③「意図的な虐待行為」と「非意図的な虐待行為」

この教材のねらい

今回、配信する教材はある一つの事例を使って、さまざまな視点から考えて「虐待行為」について理解を深めていくものである。

この教材は、虐待には、意図的な虐待と、本人は意図せずとも周りから見ると虐待である「非意図的な虐待」があることに気がつくことをねらいとする。

事例(ある職員Aさんの声)

居室訪問をしたら、便失禁をしている利用者Bさんがいました。リハビリパンツを脱ごうとしたのか両手は便まみれになっていて、服や布団、ベッドや床など本人が触ったところがベタベタに汚れていました。

急いで本人についた汚れを拭き取って着替えさせようとしてしました。その際に爪で引っかかれたり、髪の毛を引っ張られたり、時折足も出て蹴りもありましたが、それでもやり返すことはせず、Bさんの腕を掴みながら必死でなんとか陰部清拭と着替えを行いました。

ただ、「痛いって！やめて！こらっ、おとなしくしなさい！」と言いながらBさんを押さえつけているところを主任に見られてしまいました。

さらにBさんの腕を押さえつけた時にBさんの腕に内出血ができてしまいました。

事例(続き)

主任に、ヒヤリハット報告書を書くようにと言われましたが、その時に主任さん「ちゃんときちんと声かけしたの?」「本人が嫌がっているのに無理やり着替えさせたの?」「相手は認知症なんだから、少々のは仕方ないことだからね」「〇〇さんも無理矢理やられて、きっと怖かったんだろうと思うよ。それって、専門職としてどうなの?」と責められました。

ちゃんと声かけしてからやったつもりです。それよりも主任の言うとおりにしていたら、便だらけになってるのに、嫌がられたらきれいにしてあげることも着替えもしてあげずにほっとけということなのかと勝手に思います。

そのくせ少しでも対応が遅れたら遅れたで「なぜちゃんと見なかった?」と責めるのに。

利用者さんに対する暴力は絶対いけないけれど、私たち職員のことでも大事に思ってくれるような職場じゃないとやってられないです。

個人ワーク(5分)

職員Aさんはどのような虐待をしたと
思いますか？

職員Aさんがしたと思われる虐待行為について、整理しましょう。

1)この事例における 意図的な虐待行為は何だと思いますか？

意図的な虐待行為：虐待したことを介護者が認識している虐待行為のこと。

2)この事例における 非意図的な虐待行為は何だと思いますか？

非意図的な虐待行為: 介護者に虐待のつもりがなくても結果的に虐待を行ってしまっている行為のこと。

グループワーク(10分)

この事例から、職員Aさんが気がついていない虐待行為があるか話し合ってみましょう。

個人ワーク(5分)

ワークシートに非意図的な虐待行為を記入しましょう

この教材を終えるにあたって

職員が虐待行為であることを知りながら行う「意図的な虐待」は極めて悪質です。

しかし、非意図的な虐待は、職員が虐待だと気がついていない分、改善するのは簡単なことではありません。

職員同士が権利擁護の意識を高くもって、現場で相互チェックすることが必要です。

お疲れさまでした。

教材作成

北海道総合福祉研究センター
理事長 五十嵐教行